

2022年11月  
1172号

# 百葉

Manyoh

一冊の会 編集部

〒168-0063 東京都杉並区和泉 2-18-8

(一冊の会研究室)

## 日本タンザニア友好協会、新しい流れを

～バラカ・H・ルヴァンダ大使閣下を囲んで「コーヒーアワー」開催～

2022年11月8日、見事な晴天の中、新しく就任したバラカ・H・ルヴァンダ大使閣下のご配慮を頂き、コロナ禍では初の日本タンザニア友好協会としての「コーヒーアワー」を開催致しました。公邸には、高円宮妃久子殿下お手植えの三春の滝桜(福島県)と雪香プロスパーポローニア、二本の木が秋空に映えて、真っすぐに天に向かってそびえていました。

### ◆ルヴァンダ大使閣下からの開会のご挨拶

**「一冊の会アサンテサーナ（スワヒリ語）＊ありがとう！」**

発展途上国のタンザニアでは、女性、福祉、貧困の問題を抱えており、一冊の会の持続の支援には大変評価しております。日本語にある『三つ子の魂百まで』のように長年素晴らしい活動に感謝しております。本日のコーヒーアワーの開催、有り難う御座います。タンザニアの名産品であるキリマンジャロコーヒーを飲みながら、タンザニアという国を訪れてみたい、一緒に何か活動や仕事をしてみたいと皆さんが感じて頂けたら幸いです。特にタンザニアの自然はアフリカのプロモーションレポートでも非常に高評価を頂いています。タンザニア人は、とてもフレンドリーで温かい人々、おもてなしの精神で皆さまをお待ちしております。一冊の会アサンテサーナ（スワヒリ語＊日本語で「ありがとう！」）



ルヴァンダ大使閣下



### ◆一冊の会最高顧問・アフリカ開発協会矢野哲郎会長からのご挨拶

先ずは本日コーヒーアワーを開催頂き有り難う御座います。タンザニアと日本の関係は長く、ムカパ大統領は何度も来日されました。私がタンザニアの式典にお招きを頂いた時、次期大統領に剣を手渡しするセレモニーがありました。自身が膝を痛めているにも関わらず階段を杖無しで走って登られました。今日もその精神がタンザニアには根強く残っております。日本とタンザニアが友好関係を協力し合う事を、今後もルヴァンダ大使閣下と話し合っていきたいと思っております。

大槻会長からは、コーヒーアワーは今までもタンザニア大使館公邸をお借りして開催しておりましたが、このように大使自ら、会の運営に携わって下さったことに感謝の意を述べられました。

一冊の会の活動を長年ご理解頂き、支援をして下さっている世界銀行東京事務所大森功一上級対外関係担当官からは「現在アフリカの人口は約 16 億人、今後 20 億を超え、アフリカ問題は大事になってきます。入行以来、常に大事にしてきた NGO との関係を益々強化していきたい。」と嬉しいお話がありました

故タンザニア駐在大使である佐藤啓太郎氏夫人の利江様もご参加下さいました。また音楽の分野からは、2009 年に一冊の会が世界銀行と共催させて頂き、開催したジャズのチャリティーコンサートにご出演頂いた、世界で脚光を浴びている中村照夫氏、更にメキシコの貴公子と呼ばれるピアニスト Alejandro Vela さんも参加して下さいました。各団体の会長や、様々な会社代表者の方々を初め、多くの皆さまも参加しておりました。

### ◆プレゼンテーション—タンザニアの紹介 白井一真上席行政官より

タンザニア共和国の紹介を白井一真上席行政官よりプレゼンテーション。タンザニアは、人口が現在爆発的に増えており、2022 年の段階ではタンザニアの人口は日本の 1/2 程ですが、2050 年には日本の人口を上回る勢いとのこと。2100 年には日本の人口の 3 倍にもなると予想されており、その頃には世界人口のトップ 10 に入る見込みとのこと。日本の 2.5 倍ある国土の中にはキリマンジャロ国立公園やリゾート地として人気のあるザンジバル島があります。観光業が盛んで、その他にもタンザナイトという美しい青紫色を有する宝石があります。また EU やインドへ農産物の輸出が盛んで、大きなビジネスチャンスに繋がる産業があります。交通面でも道路が整備され、フライオーバーと呼ばれる立体交差点の建築や新しい空港等が出来、街全体が発展しているとのこと。日本からタンザニアへは UAE のドバイやカタルのドーハ空港経由のサービスがあるとのこと。今後の課題は医療へのアクセスの質を上げることであり、医療機器や機械や義足等といった医療器具等のご支援を頂ければとのお話もありました。



タンザニアの雄大で美しい大自然に参加者一同大変魅了されました

### ◆トーク&質疑応答 ルヴァンダ大使と大槻会長・小山事務局長



一冊の会広報啓発部長の深田貴美子さんを MC にルヴァンダ大使を囲み大槻会長、小山事務局長からタンザニア友好協会発足に向けた当時の想いや発足時のお話等がありました。1993 年に大槻会長は国連大学で開催された第一回アフリカ開発会議に招かれ、チアロ大使とお会いして友好を深めて参りました。「アフリカが今後の世界を担っていく」と感じていた大槻会長は、2006 年 4 月 18 日に「タンザニア大使公邸」において、日本国とタンザニア連合共和国並びにアフリカ諸国との平和と友好交流を促進し、世界の恒久平和実現と国際政治並びに国際経済の安定と発展に寄与することを目的に、日本タンザニア友好協会を設立。設立当日は、光栄にも高円宮妃久子殿下御臨席の下、多数の御来賓に御出席頂き晴天のもと発会式が執り行われました。福島会の会員が「三春の滝桜」をストーブで温めて咲かせて持参。真心の高円宮妃お手植えの感動的な植樹となりました。その年の末には国賓として来日したキクウェティ大統領夫人をお迎えて目黒雅叙園で歓迎会も行いました。その後一冊の会では識字教育活動のひとつとして 2000 年にはさくら幼稚園を建設し、贈呈。次にイララ幼稚園の設立にも貢献しました。タンザニアに訪問した際は、タンザニア駐在大使の故佐藤啓太郎大使、敏江夫人が歓迎して下さい、夫人が日本から来た大槻会長と小山事務局長を労う為におにぎりを用意して下さい。という心温まるエピソードも。

長きに亘りタンザニアの教育(識字)向上に努め支援を続け、日本とタンザニアの明るい未来構築の為に常に行動的で、情熱を持って活動を持続している一冊の会にルヴァンダ大使から感謝のお言葉も頂きました。



## ◆一冊の会親善大使であるDON ALMASによる演奏とコーヒータイム&交流会



DON ALMAS によるスパンニッシュギターの演奏。コーヒーアワーにちなみ、「コーヒールンバ」のリズミカルな演奏に会場の雰囲気は最高潮。

参加者の皆さん同士、大使館職員も含めて楽しい交流の時間を過ごしました。

会場では映画「タンザニア ザ ロイヤルツアー」を上映し、タンザニアの大自然の映像を見ながら、タンザニアへの想いを語り合いました。

会の最後にルヴァンダ大使に一冊の会から記念品贈呈を行いました。平間幸江理事からは見事な「書」が贈呈。タンザニアの子どもへパズルの贈呈。その他お花や 12 月のイベントを彩るクリスマスのサンタが描かれたお盆、また、長年音楽教室の生徒さんから鉛筆などを集めて下さっている富永さん、真心の文房具の贈呈。その他、多くの記念品がタンザニアの子ども達へ贈呈されました。



今後も一冊の会、日本タンザニア友好協会では、教育・文化・経済活動を通じて、日本とタンザニア連合共和国並びにアフリカ諸国との平和友好交流を促進し、世界の恒久平和実現と国際政治並びに国際経済の安定と発展に寄与することを目的に活動を続けて参ります。皆さまの温かいご理解とご支援を引き続きどうぞよろしくお願い致します。



ルヴァンダ大使を囲んで記念撮影（タンザニアの子どもへの贈呈品と共に）

文責：城杉主任研究員